

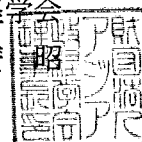
平成 16 年 6 月 30 日

外務大臣 殿

東京都文京区本郷7丁目3番地1

財団法人 アジア政経学会

理事長 末廣



平成 15 年度（2003 年度）事業概要報告書の提出

平成 15 年度事業報告書について、外務大臣の所轄に属する公益法人の設立及び監督に関する省令の規定により、関係書類を添えて提出します。

- 1 平成 15 年度事業概要報告書
- 2 平成 16 年度第 1 回理事会議事録
- 3 平成 15 年度計算書類
  - (1) 収支計算書
  - (2) 正味財産増減計算書
  - (3) 貸借対照表
  - (4) 財産目録
- 4 監事の意見書
- 5 平成 15 年度の理事名簿

## アジア政経学会

### 平成 15 年度 (2003 年度) 事業概要報告書

#### (1) 平成 15 年度理事会の開催

- ①理事会の開催 第 1 回 5 月 24 日、第 2 回 11 月 8 日にそれぞれ開催した。
- ②常務理事会の開催 第 1 回 4 月 5 日、第 2 回 7 月 5 日、第 3 回 9 月 20 日、第 4 回 11 月 9 日にそれぞれ開催した。

#### (2) 大会、研究会の開催

- ①東日本大会 (5 月 24 日 主催校は神田外語大学、アジア経済研究所)
    - \*分科会 4 つ (報告者計 8 名)
    - \*共通論題 1 「アジアはアメリカをどうみているか」
    - \*共通論題 2 「アジア企業のグローバル化への対応」
  - ②西日本大会 (6 月 14 日 主催校は甲南大学)
    - \*分科会 3 つ (報告者計 6 名)
    - \*共通論題 1 「グローバル化とアジア経済」
    - \*共通論題 2 「韓国・北朝鮮経済と『改革』」
  - ③全国大会 50 周年記念大会 (11 月 8 日、9 日 主催校は東京大学社会科学研究所)
    - \*自由論題 7 分科会 (報告者計 23 名)
    - \*共通論題分科会 1 「アジアの『民主体制』をどうみるか」
    - \*共通論題分科会 2 「『地域協力』の政治経済学」
    - \*共通論題分科会 3 「Innovative East Asia と情報革命」
    - \*共通論題分科会 4 「アジア農業問題の 50 年と WTO」
    - \*50 周年記念国際シンポジウム「2001 年 9 月テロ事件以後、アジアはアメリカをどう見ているか？」(機関誌『アジア研究』第 50 巻第 2 号の特集号に報告と議論の内容を掲載)。
    - \*50 周年記念シンポジウム (石川滋元理事長、松本三郎元理事長による記念講演ほか)
    - \*第 1 回アジア政経学会優秀論文賞を益尾知佐子、陳正達両会員に授与した。
  - ④月例研究会
    - \*4 月 5 日 早稲田大学 COE「現代アジア学の創生」との共催で陸学芸：中国社会化学院社会学研究所元所長の特別講演会を開催した。
- なお、各大会の内容は学会ニューズレターで詳しく紹介されており、学会ホームページ (<http://www.jaas.or.jp>) に掲載されている。

(3) 『アジア研究』刊行

- \* 『アジア研究』第49巻第2号 平成15年4月刊行。
- \* 『アジア研究』第49巻第3号 平成15年7月刊行。
- \* 『アジア研究』第49巻第4号 平成15年10月刊行。
- \* 『アジア研究』第50巻第1号 平成16年1月刊行。

(4) 国際交流の推進

- \* 従来のオーストラリアを拠点とする「Asian Studies in Asian Networks (ASIAN)」との連携を強めた。
- \* 全国大会で50周年記念国際シンポジウムを開催し、アメリカ、マレーシア、パキスタン、韓国、中国の著名研究者を招聘した。

(5) ニュースレターとホームページの充実

- \* ニュースレターの充実に努め、研究大会報告の内容をいっそう豊富にした。
- \* 研究大会の自由論題の論文提出が義務つけられたのに伴い、すべての論文を学会のホームページに事前掲載した。また大会終了後も論文要旨はホームページで閲覧可能になっている。

(6) 会員動向調査

- \* 科学研究費補助金（研究成果公開促進）に採択された「アジア研究者データベース作成委員会」（代表者：末廣昭）のデータベース作成、機関誌『アジア研究』全文の電子情報化、アジア関連COE事業との連携プロジェクトに協力し、その成果をホームページに公開した。

(7) 事務体制の合理化

- \* 総務担当と財務担当の業務を外部のNPO法人に委託する検討と準備作業を行った。

(8) 会員数

- \* 2003年3月末現在、会員数は1316名である。所属先、研究対象国、研究テーマの詳細はホームページに掲載した。

以上。